



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY 2000 : ACT WITH CONSISTENCY, CREDIBILITY, CONTINUITY

「ロータリー2000：活動は一堅実、信望、持続」

1999～2000年度・国際ロータリーテーマ／カルロ・ラビッツ会長

「皆のロータリー—新しい発想と実践」

1999～2000年度・東京新南ロータリークラブテーマ／渡部一 元会長

本日の例会 9月3日 第622回例会

◎卓話「親とは何だろう」

俳優 穂積 隆信 氏

先週報告 8月20日 第621回例会

◎卓話

「この国の企業の課題とロータリー」

日本火災海上保険(株)相談役
東京新橋ロータリークラブ会員
品川 正治 氏



TOKYO

◎国際奉仕委員会報告 (佐々木委員長)

8月17日に発生したトルコ地震に対する義援金を集めています。9月24日まで例会場受付に「トルコ地震義援金ボックス」を設置しますので、ご協力をお願いします。

◎社会奉仕委員会報告 (梶内委員)

本年度も書き損じはがき、使用済みテレカ等がありましたら、受け付けの箱に寄付してください。バングラデシュなどでは、書き損じはがき1枚がノート1冊と鉛筆数本になるらしいです。

◎親睦活動委員会報告 (吉岡委員長)

9月7日(火)に歴代会長・幹事を囲んでというテーマで、火曜会を開催します。今回は山川、関両会員にお話をお願いしたので、皆さん奮って参加してください。

◎出席報告

- 会員70名/出席46名・欠席24名
- ビジター2名



8月27日/14件 37,000円
99～2000年度累計 291,300円
多額の御寄付を有難うございました。

高須康有/品川様本日は卓話誠にありがとうございます。
佐々木忠行/トルコ地震義援金のご協力をお願い致します。
吉岡さん写真ありがとうございます。園谷正和/誕生日と2年例会100%出席の2重のお祝いありがとうございます。谷義一/遅れ馳せながら58才になりました。誕生祝いありがとうございます。石川泰啓/誕生祝いありがとうございます。夏休みは約2週間家族でタイに行っていました。後藤信夫/ホームクラブの欠席が続きました。フォーシーズンズのホテル狩りは土砂降りでした。6年の皆出席を頂きました。小杉修造/先日の暑気払の会では親睦委員会の皆さんにお世話になりました。新保國彦/暑気払の会楽しませていただきました。横山秀明/暑気払の会幹事さんご苦労さまでした。吉岡琢磨/暑気払多数参加ありがとうございます。鈴木康一/ジャイアンツのことなどいろいろ秋の陣頑張っています。川鍋二郎/梶内さんニコニコ担当ご苦労さまでした。吉岡さん、福島さん、写真ありがとうございます。河原勢自/梶内さんは男の中の男です。宜しくおねがいします。梶内滋男/ニコニコ当番です。トルコ地震義援金の方を優先して頂きました。

暑気払の会報告

1999年度親睦活動委員会主催の「暑気払の会」が、8月24日(火)目白のフォーシーズンズホテル・椿山荘4F「ヒッコリールーム」で、会員34名、令夫人12名、ゲスト1名、事務局1名の計48名の参加を得て開催された。

当日は午前中に雷雨があり足元が懸念されたが、開始時刻の午後6:30頃には雨も止み、参加予定者全員の元気な笑顔が揃った。吉岡委員長の司会により、まず会員令夫人の紹介があり、その後渡部会長の「兎に角やっこしい話は抜きにして、老若男女皆胸襟を開いて語り合おう。Open, Flat, Simpleでやって行きたい」との挨拶に続き、谷村会員の乾杯の発声により宴が始まった。各テーブルで和気藹々として入れ代わり、立ち代り談笑が続いた。途中で雷雨になり、自然の演奏(稲光)を聞き、ホテル以上の光を見ながらの楽しい夕べとなった。途中、このホテル(他多数)の設計を担当した柴田会員より、設計・建築迄の種々の苦労話と決断の理由が披露された。

最後の締めめの挨拶は西澤副会長が行い、その後雨も上がったので、有志による庭園の電子ボタルの観賞が行われ、無事にお開きとなった。(庄司 記)



出席者(48名、順不同・敬称略)相澤、青野、荒木夫妻、福島、後藤(信)、石井、石東、岩瀬、河原、川鍋、小澁夫妻、小杉(眞)夫妻、小杉(修)夫妻、宮本、村山、西澤夫妻、大日方、小原、大山、酒井夫妻、佐々木夫妻、柴田夫妻、新保夫妻、庄司、高須、武下、田中、谷村、土屋夫妻、園谷、渡部夫妻、横山、吉田(用)、吉岡夫妻、李(米山奨学生)、山中(事務局)

次週予告 9月10日 第623回例会

卓話予定 イニシエーションスピーチ
「わがダボハゼ人生」

当クラブ会員

(株)ジース・アソシエイツ代表取締役 鈴木 康一 君

第2回クラブ協議会

「会員増強 — 見直そう 人縁、地縁 —」

日時：8月27日(金)例会後13:45～15:00

場所：東京全日空ホテルB1 青雲の間 出席者：23名

1. 本年度の会員増強について(渡部会長)

本年度は7名入会で純増1名を目標にしています。

2. 入会まで(いかにして会員増強をするか)

① 会員増強の重要性(青野会員増強委員長)

2750地区ではこの1年間に会員数は199名減、前年度は221名減でした。他クラブの殆どは会員数減です。当クラブの会員数は1993年以降は70名前後で推移しています。これは入会者と同数程度の退会者がいるためであり、今後新会員が入会しなければ当クラブは10年で消滅します。現在の様な厳しい社会情勢下で会員候補者を探し出すことは大変なことです。そこで、当委員会としては個人的関係を重視した増強方法「見直そう人縁、地縁」をテーマとしました。自分のまわりを改めて見直せば必ず2-3人の候補者がいるはずですので、機を見てアタックして下さい。まだ推薦者になっていない会員には是非推薦者になって頂くようお願いいたします。

② 選考方法について(宮武会員選考委員長)

(i) 当委員会は被推薦者について、クラブ会員としての適格性、職業上や社会的な地位・人格などを判断するために、その事業所を訪問し本人との面談を行います。この対話においても、被推薦者の例会出席を始めとするクラブ活動への積極的な参加と奉仕の意志の確認が大切です。当委員会は、この調査及び判断の結果を理事会に報告します。

(ii) 「ロータリーの友」8月号に掲載されているカルロ・ラビッツ R I 会長のメッセージ「質の強化(A Quantity of Quality)」については改めて考慮する必要があります。R I 会長は次の様に述べています。「ロータリーにおいて私たちが必要とするのは、単なる会員の増加の数ではなく、"優れた資質をもった会員を多く" 入会させることにあります。・・・奉仕活動に対して全く熱意をもっていない会員は、恐らくクラブを去っていくことになるでしょう。・・・」

③ 職業分類からみた会員増強(大日方職業分類委員長)

職業分類表には大分類項目が13、小分類項目が256ありますが、会員がいない未充填大分類項目が2つあります。会員は、サービス業と専門サービス業に集中していて、この2つで28名(入会予定者1名を含む)、全会員の約40%を占めています。専門サービス業だけで17名です。一方、製造業は、小分類項目が52あり、全体の20%になりますが、会員はシニア3名を含めわずか6名です。会員が少なくなった販売業や金融証券保険業とあわせて、未充填項目の会員を獲得できると、バランスのとれた会員構成になります。専門サービス業というのは、弁護士、弁理士、会計士、監査法人、税理士、建築設計士、医師など、世間では「先生」と呼ばれている職業です。わがクラブに「先生」と呼ばれる会員が多くいるのは、素晴らしいことではないでしょうか。仕事の間では、「先生」には、指導や助言、援助をして頂くことは沢山ありますが、なかなか友達にはなりません。わがクラブに入会していただくと、沢山の「先生」方と友達になれます。これも、入会を勧めるときにセールスポイントの一つになるのではないのでしょうか。

④ 今後の課題とチャレンジ(新保会員増強副委員長)

当クラブに入会して得られる素晴らしい恩恵を共有できる候補者を推薦することは会員の義務です。本年度の目標は7名ですが、財政上からも是非達成したいものです。

(川鍋委員) 近年女性会員は増えつつありますが、千代田分区では未だいません。女性の社会進出は目覚ましいものがあり、仲間として受け入れてもよい時期ではないのでしょうか。社会の中で認められるロータリーであって欲しいですので、皆さん勇気を持って推薦して頂きたいと思います。

⑤ 討議

(高須会員) 男女を問わず増やして行くべき。女性がいつくならないようなクラブの雰囲気作りも重要。

(圓谷会員) ロータリーの精神を本当に理解・賛同してくれる人を勧誘すべき。その考えに基づき、ロータリー財団奨学生経験者を中心に勧誘中。

3. 入会してから(いかにしてクラブになじむか)

① 推薦者、カウンセラーの役割(馬場ロータリー情報委員長)

入会3年未満の会員に対して年3回勉強会を開催している。新会員にはカウンセラーもつくが、推薦者によるフォローも重要。

② 親睦の立場から(吉岡親睦活動委員長)

過去入会2-3年目の退会者が多かった。クラブ内でのいい人間関係を作るのが退会防止につながる。今年1年間は「声掛け運動」に力をいれるつもり。

③ 新会員の立場から(大山友もあ会会員)

宮武前会長の提案で作られた入会3年未満の会員の退会防止と親睦を目的とした会で、2ヶ月に一度食事会を開いている。現在17名の会員と会長、副会長が出席しているが、他の会員も出席は大歓迎。新人は気の小さい人が多いので、できるだけ皆で声を掛けてあげよう。

④ 討議

(関会員) 余り規則や義務だけにとらわれ過ぎるのは考え物。人数を増やすだけがクラブの力を強くするのではない。数より質を高め、よりfriendlyなクラブにしていく方向もあるのでは。人数的には70人くらいが一番いいと思う。(清原会員) 未充填の職業分類を埋めようとは努力しているが、誰でも入れればいいというものでもない。女性会員問題は、親クラブとの話し合いで指針のようなものを作ってもらえるといい。(柴本会員) 自分のような年金生活者にとって都心のクラブの会員になっていることの経済的負担は大きい。週に1回電車に揺られて出てきて、卓話を聞くというのは金には代えられない事だ。ただ、ゆくゆくは会員数のことを気にしないで気軽に辞めさせてもらえる位の会員数(経営的には80-90名は必用)まで増やしていく必要がある。その場合には女性会員も考えにのける必要が出てくるだろう。(石井会員) 入会時は、お付き合いで1年位は入ろうという位の気持ちで入ったが、入会後いろいろな人から声を掛けて頂き、もっと続けていこうかなと思うようになってきた。通常は不安な状況にある新会員には皆で積極的な声を掛けて頂きたい。

⑤ まとめ(西澤副会長)

(入会してからいかにクラブになじむか) 只今、実のあるまた率直な感想やご意見を出して頂きありがとうございます。新しい会員にいかにしてクラブになじんでもらうかということは、会員増強と車の両輪になる大事なテーマであります。創立以来の退会者のうち半数近くが馴染めなかったというご報告はショックでした。しかし当クラブではベテランによるカウンセラー制度が定着し大変好評であります。推薦者を始め皆の声掛け話し掛けが大事で、やはり全員の仕事だと思います。

出席したくなる例会を目指しているわけですが、基本である親睦活動の場も委員会の皆さんを中心に年々新しい企画を盛り込んで楽しいものになっています。火曜会・食歩歩き会・家族会・ゴルフ会等々毎回出席者が増えてきましたし、囲碁同好会・研究会・友もあ会なども発足し、盛んになってきました。新しい会員ばかりでなく、話し合い語り合うチャンスが増え、楽しむ機会になっています。年々みなさんのご努力で他のクラブに負けない家族的な充実したクラブ運営になっているように思えます。真面目・一所懸命・紳士的だが、もう少し気楽なところがあってもいいのでは、という名言がだんだん生かされて来たのかもしれないと感じています。会員増強によって新しい血が入り、又時代の変化に即応した運営によってクラブの活性化をはかることが大きなテーマであります。入会される方々は皆さん豊かな常識を持ち、見識・教養のある方々ばかりですから、始めから規則だ、前例だ、教育だと言わないで、まずはフレンドリーに馴染んでもらい、段々とロータリーの理解を深めてもらうことが良いのではないかと思います。必ずや、老・若・男・女(いずれ女も)・ベテラン・フレッシュマン等、バランスのとれた家族的で居心地の良いクラブになっていくものと信じています。

4. 総括(渡部会長)

今回のクラブ協議会は、打ち合わせなしで発言者を指名するなど、今までとやり方を変えてやってみました。素晴らしい意見がたくさん出ました。増強と退会防止に対する皆さんのご意見をお伺いして、私は次のような感想を持ちました。

① 人縁地縁を拡大する

② 女性問題は避けて通れない時代になってきた。女性候補者が出てきたときに、我々としてどのような対応をすればいいか、を考える段階にきている。

③ ロータリーへの愛着度の向上が増強と退会防止につながる

東京新南ロータリークラブ

会長：渡部一元 副会長：西澤正雄 幹事：小杉眞史

〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004

例会日：毎週金曜日 12時30分

例会場：東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111

<会報委員>

相澤 成憲、福島 賢哉、後藤 信夫、

後藤 完夫、加藤 昌明、清原 元輔、

村山 公士、田中 武、圓谷 正和、

保森 登、吉岡 琢磨、吉田 武